

平成28年度「学力・学習状況」検証事業研究状況報告書(概要)

研究課題

「小・中学校の連携した取組は、どのように学力向上に影響を及ぼすか。」

1 学校紹介

本校は、JR下総中山駅下車徒歩7分のところにある。周囲には大型ショッピングセンター、中小の工場、商店街もあり、大変にぎわっている。

保護者の教育への関心は高く、行事等の参観人数は多い。学校への協力体制も良好で、登校指導などボランティアとしての協力も多い。

2 研究主題

自分の考えを豊かに表現できる子どもの育成

3 研究の概要

(1) 児童・生徒の実態と課題

「全国学力・学習状況調査」の結果から

【国語】

○A問題、B問題とも全国平均、千葉県平均を上回っている。言語についての基礎的、基本的な知識、技能だけでなく、活用を必要とされるB問題の正答率も高い。

【算数】

○それぞれの正答率はA問題、B問題とも全国平均、千葉県平均を上回っている。計算の技能、数や図形についての知識・理解だけでなく、活用を必要とされるB問題の正答率も高い。

(2) 学力向上のための取組とその成果

国語科・算数科における校内研究に基づく学習指導の工夫の効果が少しずつ表れている。さらに、意図的な協働の場、対話による学びを重視し、学力の向上を図ってきたい。

4 今後の課題

ペア学習、グループ学習等他者との対話による活動を意図的に取り入れ、言語活動の充実を図っているが、まだ、十分な活動に至っていない。学年間の共通理解、系統性を周知していくことが必要と思われる。